



RESTCONF プロトコル

この章では、HTTP ベースの Representational State Transfer コンフィギュレーション プロトコル (RESTCONF) を設定する方法を説明します。RESTCONF は、設定データ、状態データ、データモデルに固有のリモートプロシージャコール (RPC) 操作、および YANG モデルで定義されているイベントにアクセスするための、標準的なメカニズムに基づく、プログラミングが可能なインターフェイスを提供します。

- [RESTCONF プロトコルの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [RESTCONF プロトコルの制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [RESTCONF プログラマブルインターフェイスについて \(2 ページ\)](#)
- [RESTCONF プログラマブルインターフェイスの設定方法 \(5 ページ\)](#)
- [RESTCONF プログラマブルインターフェイスの設定例 \(10 ページ\)](#)
- [RESTCONF プロトコルの関連資料 \(13 ページ\)](#)
- [RESTCONF プロトコルの機能情報 \(14 ページ\)](#)

RESTCONF プロトコルの前提条件

- RESTCONF に対して Cisco IOS-HTTP サービスを有効にします。詳細については、『[RESTCONF RPC の例](#)』を参照してください。

RESTCONF プロトコルの制約事項

RESTCONF プロトコルには、次の制約事項が適用されます。

- 通知およびイベント ストリーム
- YANG パッチ
- フィルタ、開始時、停止時、再生、アクションなどのオプションのクエリ パラメータ
- RESTCONF 機能は、デュアル IOSd 設定またはソフトウェア冗長性を実行しているデバイスではサポートされていません。

RESTCONF プログラマブル インターフェイスについて

RESTCONF の概要

このセクションでは、構成をネットワーク デバイスにプログラムを使用して書き込めるようにする、プロトコルおよびモデリング言語について説明します。

- **RESTCONF** : 構造化データ (XML または JSON) および YANG を使用して REST ライクな API を提供します。これによりさまざまなネットワーク デバイスにプログラムを使用してアクセスできます。RESTCONF API は HTTPs メソッドを使用します。
- **YANG** : モデル構成および操作機能に使用されるデータ モデリング言語。YANG は、NETCONF および RESTCONF API によって実行できる関数の有効範囲と種類を決定します。

Cisco IOS XE Fuji 16.8.1 よりも前のリリースでは、運用データ マネージャ (ポーリングに基づく) が個別に有効になっていました。Cisco IOS XE Fuji 16.8.1 以降のリリースでは、運用データは、NETCONF を実行しているプラットフォームで動作し (設定データの仕組みと同様)、デフォルトで有効になっています。運用データのクエリまたはストリーミングに対応するコンポーネントの詳細については、[GitHub](#) リポジトリで命名規則の **-oper* を参照してください。

HTTPs メソッド

ステートレス プロトコルである HTTPs ベースの RESTCONF プロトコル (RFC 8040) は、セキュアな HTTP メソッドを使用して、YANG 定義データが含まれる概念データストア (NETCONF データストアを実装するサーバと互換性がある) で CREATE、READ、UPDATE、および DELETE (CRUD) 操作を提供します。

次の表では、RESTCONF 操作に NETCONF プロトコル操作を関連付ける方法を示しています。

オプション	サポートされているメソッド
GET	読み取り
PATCH	更新
PUT	作成または置換
POST	作成または操作 (リロード、デフォルト)
DELETE	ターゲット リソースの削除
HEAD	ヘッダー メタデータ (応答本文なし)

RESTCONF ルート リソース

- RESTCONF デバイスは、RESTCONF 属性を含むリンク要素である `/.well-known/host-meta` リソースにより、RESTCONF API のルートを決めます。
- RESTCONF デバイスは、要求 URI のパスの最初の部分として RESTCONF API ルート リソースを使用します。

例：

Example returning `/restconf`:

The client might send the following:

```
GET /.well-known/host-meta HTTP/1.1
Host: example.com
Accept: application/xrd+xml
```

The server might respond as follows:

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/xrd+xml
Content-Length: nnn

<XRD xmlns='http://docs.oasis-open.org/ns/xri/xrd-1.0'>
  <Link rel='restconf' href='/restconf'/>
</XRD>
```

URI の例：

- GigabitEthernet0/0/2 :
`https://10.104.50.97/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface/GigabitEthernet=0%2F0%2F2`
- fields=name :
`https://10.104.50.97/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface/GigabitEthernet=0%2F0%2F2?fields=name`
- depth=1 :
`https://10.85.116.59/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface/GigabitEthernet?depth=1`
- Name と IP :
`https://10.85.116.59/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface?fields=GigabitEthernet/ip/address/primary/name`
- MTU (フィールド) :
`https://10.104.50.97/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface?fields=GigabitEthernet(mtu)`
- MTU :
`https://10.85.116.59/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface/GigabitEthernet=3/mtu`
- ポートチャネル :
`https://10.85.116.59/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/interface/Port-channel`
- 「Char」 から 「Hex」 への変換チャート : `http://www.columbia.edu/kermit/ascii.html`

RESTCONF API リソース

API リソースは、+restconf に位置する上位リソースです。これは次のメディアタイプをサポートします。



(注) メディアは、RESTCONF サーバ (XML または JSON) に送信される YANG 形式 RPC のタイプです。

- application/yang-data+xml または application/yang-data+json
- API リソースには、RESTCONF DATASTORE および OPERATION リソースの RESTCONF ルート リソースが含まれます。次に例を示します。

The client may then retrieve the top-level API resource, using the root resource `"/restconf"`.

```
GET /restconf HTTP/1.1
Host: example.com
Accept: application/yang-data+json
```

The server might respond as follows:

```
HTTP/1.1 200 OK
Date: Thu, 26 Jan 2017 20:56:30 GMT
Server: example-server
Content-Type: application/yang-data+json

{
  "ietf-restconf:restconf" : {
    "data" : {},
    "operations" : {},
    "yang-library-version" : "2016-06-21"
  }
}
```

詳細については、RFC 3986 を参照してください

メソッド

メソッドは、ターゲット リソースで実行される HTTPS 操作

(GET/PATCH/POST/DELETE/OPTIONS/PUT) です。YANG 形式 RPC は、RESTCONF サーバに存在するターゲット YANG モデルに関連する指定のリソースに対して、特定のメソッドを呼び出します。Uniform Resource Identifier (URI) は指定されたリソースのロケーション ID として機能するため、クライアントの RESTCONF メソッドは、その特定のリソースを探して、HTTPS のメソッドまたはプロパティで指定されたアクションを実行することができます。

詳細については、「RFC 8040 : RESTCONF プロトコル」を参照してください。

RESTCONF プログラマブルインターフェイスの設定方法

AAA を使用した NETCONF/RESTCONF の認証

始める前に

NETCONF 接続と RESTCONF 接続は、認証、許可、およびアカウントिंग（AAA）を使用して認証する必要があります。その結果、権限レベル 15 のアクセスで定義された RADIUS または TACACS + ユーザに、システムへのアクセスが許可されます。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **aaa new-model**
4. **aaa group server radius *server-name***
5. **server-private *ip-address* key *key-name***
6. **ip vrf forwarding *vrf-name***
7. **exit**
8. **aaa authentication login default group *group-name*local**
9. **aaa authentication login *list-name* none**
10. **aaa authorization exec default group *group-name*local**
11. **aaa session-id common**
12. **line console *number***
13. **login authentication *authentication-list***
14. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	aaa new-model 例： Device(config)# aaa new-model	AAA をイネーブルにします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	aaa group server radius <i>server-name</i> 例： Device(config)# aaa group server radius ISE	RADIUS サーバを追加し、サーバグループ RADIUS コンフィギュレーション モードを開始します。 • <i>server-name</i> 引数には、RADIUS サーバ グループ名を指定します。
ステップ 5	server-private <i>ip-address key key-name</i> 例： Device(config-sg-radius)# server-private 172.25.73.76 key Cisco123	プライベート RADIUS サーバの IP アドレスと暗号キーを設定します。
ステップ 6	ip vrf forwarding <i>vrf-name</i> 例： Device(config-sg-radius)# ip vrf forwarding Mgmt-intf	AAA RADIUS または TACACS+ サーバ グループの Virtual Route Forwarding (VRF) 参照情報を設定します。
ステップ 7	exit 例： Device(config-sg-radius)# exit	サーバグループ RADIUS コンフィギュレーション モードを終了し、グローバルコンフィギュレーション モードに戻ります。
ステップ 8	aaa authentication login default group <i>group-name</i> local 例： Device(config)# aaa authentication login default group ISE local	ログイン時に、指定されたグループ名をデフォルトのローカル AAA 認証として設定します。
ステップ 9	aaa authentication login <i>list-name</i> none 例： Device(config)# aaa authentication login NOAUTH none	システムへのログイン中に認証が不要であることを指定します。
ステップ 10	aaa authorization exec default group <i>group-name</i> local 例： Device(config)# aaa authorization exec default group ISE local	許可を実行して、EXEC シェルの実行がユーザに許可されているかどうかを確認します。
ステップ 11	aaa session-id common 例： Device(config)# aaa session-id common	指定のコールに対して送信されたセッション ID 情報が同じになるようにします。
ステップ 12	line console <i>number</i> 例： Device(config)# line console 0	設定する特定の回線を識別し、ラインコンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 13	login authentication <i>authentication-list</i> 例：	ログインに対する AAA 認証をイネーブルにします。

	コマンドまたはアクション	目的
	Device(config-line)# login authentication NOAUTH	
ステップ 14	end 例： Device(config-line)# end	回線コンフィギュレーションモードを終了します。 続いて、特権 EXEC モードに戻ります。

RESTCONF の Cisco IOS HTTP サービスの有効化

RESTCONF インターフェイスを使用するには、次の作業を行います。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **restconf**
4. **ip http secure-server**
5. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	restconf 例： Device(config)# restconf	ネットワーク デバイスで RESTCONF インターフェイスを有効にします。
ステップ 4	ip http secure-server 例： Device(config)# ip http secure-server	セキュア HTTP (HTTPS) サーバをイネーブルにします。
ステップ 5	end 例： Device(config)# end	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードを開始します。

RESTCONF の設定の検証

スタートアップ コンフィギュレーションを使用してデバイスが起動すると、*nginx* プロセスが実行中になります。ただし、DMI プロセスは有効にはなりません。

次の **show platform software yang-management process monitor** コマンドの出力例は、*nginx* プロセスが実行中であることを示しています。

```
Device# show platform software yang-management process monitor

COMMAND          PID S   VSZ   RSS %CPU %MEM   ELAPSED
nginx            27026 S 332356 18428 0.0 0.4    01:34
nginx            27032 S 337852 13600 0.0 0.3    01:34
```

NGINX は、プロキシ Web サーバとして機能する内部 Web サーバで、Transport Layer Security (TLS) ベースの HTTPS を提供します。HTTPS を介して送信された RESTCONF 要求は、最初に NGINX プロキシ Web サービスによって受信され、さらに要求が構文/セマンティックチェックのために *confd* Web サーバに転送されます。

次の **show platform software yang-management process** コマンドの出力例は、スタートアップ コンフィギュレーションを使用してデバイスが起動されたときのすべてのプロセスのステータスを示しています。

```
Device# show platform software yang-management process

confd           : Not Running
nesd            : Not Running
syncfd         : Not Running
ncsshd         : Not Running
dmiauthd       : Not Running
nginx          : Running
ndbmand        : Not Running
pubd           : Not Running
```

restconf コマンドが設定されている場合、*nginx* プロセスが再起動され、DMI プロセスが起動されます。

次の **show platform software yang-management process** コマンドの出力例は、*nginx* プロセスと DMI プロセスが起動して実行中であることを示しています。

```
Device# show platform software yang-management process

confd           : Running
nesd            : Running
syncfd         : Running
ncsshd         : Not Running ! NETCONF-YANG is not configured, hence ncsshd process
is in not running.
dmiauthd       : Running
vtyserverutild : Running
opdatamgrd    : Running
nginx          : Running ! nginx process is up due to the HTTP configuration, and it
is restarted when RESTCONF is enabled.
ndbmand        : Running
```


次の `show platform software yang-management process monitor` コマンドの出力例では、すべてのプロセスに関する詳細情報が表示されています。

```
Device# show platform software yang-management process monitor
```

```
COMMAND          PID S    VSZ   RSS %CPU %MEM    ELAPSED
confd             28728 S 860396 168496 42.2  4.2     00:12
confd-startup.s  28448 S 19664  4496  0.2  0.1     00:12
dmiauthd         29499 S 275356 23340  0.2  0.5     00:10
ndbmand         29321 S 567232 65564  2.1  1.6     00:11
nesd            29029 S 189952 14224  0.1  0.3     00:11
nginx           29711 S 332288 18420  0.6  0.4     00:09
nginx           29717 S 337636 12216  0.0  0.3     00:09
pubd            28237 S 631848 68624  2.1  1.7     00:13
syncfd         28776 S 189656 16744  0.2  0.4     00:12
```

AAA と RESTCONF インターフェイスが設定され、`nginx` プロセスと関連する DMI プロセスが実行中になった後、デバイスは RESTCONF 要求を受信できる状態になります。

NETCONF/RESTCONF セッションのステータスを表示するには、`show netconf-yang sessions` コマンドを使用します。

```
Device# show netconf-yang sessions
```

```
R: Global-lock on running datastore
C: Global-lock on candidate datastore
S: Global-lock on startup datastore
```

```
Number of sessions : 1
```

session-id	transport	username	source-host	global-lock
19	netconf-ssh	admin	2001:db8::1	None

NETCONF/RESTCONF セッションに関する詳細情報を表示するには、`show netconf-yang sessions detail` コマンドを使用します。

```
Device# show netconf-yang sessions detail
```

```
R: Global-lock on running datastore
C: Global-lock on candidate datastore
S: Global-lock on startup datastore
```

```
Number of sessions : 1
```

```
session-id      : 19
transport       : netconf-ssh
username        : admin
source-host     : 2001:db8::1
login-time      : 2018-10-26T12:37:22+00:00
in-rpcs         : 0
in-bad-rpcs     : 0
out-rpc-errors  : 0
out-notifications : 0
global-lock     : None
```

RESTCONF プログラマブルインターフェイスの設定例

例：RESTCONF プロトコルの設定

RESTCONF 要求 (HTTPS Verb) :

次に、ターゲット リソースで許可されている HTTPS Verb を示す RESTCONF 要求の例を示します。この例では **logging monitor** コマンドを使用しています。

```
root:~# curl -i -k -X "OPTIONS"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor/severity"
\
>      -H 'Accept: application/yang-data+json' \
>      -u 'admin:admin'
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 15:27:57 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 0
Connection: keep-alive
Allow: DELETE, GET, HEAD, PATCH, POST, PUT, OPTIONS >>>>>>>> Allowed methods
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Accept-Patch: application/yang-data+xml, application/yang-data+json
Pragma: no-cache

root:~#
```

POST (作成) 要求

POST 操作では、ターゲット デバイスに存在しないコンフィギュレーションが作成されます。



(注) 実行コンフィギュレーションで **logging monitor** コマンドを使用できないことを確認してください。

次の POST 要求の例では **logging monitor alerts** コマンドを使用しています。

```
Device:~# curl -i -k -X "POST"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor" \
>      -H 'Content-Type: application/yang-data+json' \
>      -H 'Accept: application/yang-data+json' \
>      -u 'admin:admin' \
>      -d '${
>      "severity": "alerts"
> }'
HTTP/1.1 201 Created
Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 14:53:51 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 0
```

```

Location:
https://10.85.116.30/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor/severity
Connection: keep-alive
Last-Modified: Mon, 23 Apr 2018 14:53:51 GMT
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Etag: 1524-495231-97239
Pragma: no-cache

Device:~#

```

PUT：（作成または置換）要求：

指定されたコマンドがデバイスに存在しない場合は、POST 要求によって作成されます。ただし、実行コンフィギュレーションにすでに存在する場合は、この要求によってコマンドが置き換えられます。

次の PUT 要求の例では **logging monitor warnings** コマンドを使用しています。

```

Device:~# curl -i -k -X "PUT"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor/severity"
\
>     -H 'Content-Type: application/yang-data+json' \
>     -H 'Accept: application/yang-data+json' \
>     -u 'admin:admin' \
>     -d '${
>   "severity": "warnings"
> }'
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 14:58:36 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 0
Connection: keep-alive
Last-Modified: Mon, 23 Apr 2018 14:57:46 GMT
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Etag: 1524-495466-326956
Pragma: no-cache

Device:~#

```

PATCH：（更新）要求

次の PATCH 要求の例では **logging monitor informational** コマンドを使用しています。

```

Device:~# curl -i -k -X "PATCH"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native" \
>     -H 'Content-Type: application/yang-data+json' \
>     -H 'Accept: application/yang-data+json' \
>     -u 'admin:admin' \
>     -d '${
>   "native": {
>     "logging": {
>       "monitor": {
>         "severity": "informational"
>       }
>     }
>   }
> }'
HTTP/1.1 204 No Content

```

```

Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 15:07:56 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 0
Connection: keep-alive
Last-Modified: Mon, 23 Apr 2018 15:07:56 GMT
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Etag: 1524-496076-273016
Pragma: no-cache
Device:~#

```

GET 要求 (読み取り)

次の GET 要求の例では **logging monitor informational** コマンドを使用しています。

```

Device:~# curl -i -k -X "GET"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor/severity"
\
> -H 'Accept: application/yang-data+json' \
> -u 'admin:admin'
HTTP/1.1 200 OK
Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 15:10:59 GMT
Content-Type: application/yang-data+json
Transfer-Encoding: chunked
Connection: keep-alive
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Pragma: no-cache

{
  "Cisco-IOS-XE-native:severity": "informational"
}
Device:~#

```

DELETE 要求 (コンフィギュレーションの削除)

```

Device:~# curl -i -k -X "DELETE"
"https://10.85.116.30:443/restconf/data/Cisco-IOS-XE-native:native/logging/monitor/severity"
\
> -H 'Content-Type: application/yang-data+json' \
> -H 'Accept: application/yang-data+json' \
> -u 'admin:admin'
HTTP/1.1 204 No Content
Server: nginx
Date: Mon, 23 Apr 2018 15:26:05 GMT
Content-Type: text/html
Content-Length: 0
Connection: keep-alive
Last-Modified: Mon, 23 Apr 2018 15:26:05 GMT
Cache-Control: private, no-cache, must-revalidate, proxy-revalidate
Etag: 1524-497165-473206
Pragma: no-cache

linux_host:~#

```

RESTCONF プロトコルの関連資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
IOS-XE、IOS-XR、および NX-OS プラットフォームのさまざまなリリースの YANG データ モデル	開発者にわかりやすい方法で Cisco YANG モデルにアクセスするには、GitHub リポジトリを複製し、vendor/cisco サブディレクトリに移動します。ここでは、IOS XE、IOS-XR、および NX-OS プラットフォームのさまざまなリリースのモデルを使用できます。

標準および RFC

標準/RFC	タイトル
RFC 6020	YANG : Network Configuration Protocol (NETCONF) 向けデータ モデリング言語
RFC 8040	Representational State Transfer Configuration Protocol (RESTCONF)

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	https://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html

RESTCONF プロトコルの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: RESTCONF プロトコルの機能情報

機能名	リリース	機能情報
RESTCONF プロトコ ル	Cisco IOS XE Everest 16.6.1	<p>RESTCONF は、YANG モデルで定義されている設定データ、状態データ、データモデル固有の RPC の操作およびイベント通知にアクセスするための、標準メカニズムに基づくプログラマチック インターフェイスを提供します。</p> <p>この機能が次のプラットフォームで追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco 4000 シリーズ サービス統合型ルータ • Cisco ASR 1000 アグリゲーション サービス ルータ • Cisco Cloud Services Router 1000V シリーズ <p>次のコマンドが導入または変更されました：ip http server および restconf</p>
	Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a	<p>Cisco IOS XE Fuji 16.8.1a では、この機能は次のプラットフォームに実装されていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco 1000 シリーズ サービス統合型ルータ • Cisco ASR 900 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ • Cisco ASR 920 シリーズ アグリゲーション サービス ルータ • Cisco Catalyst 3650 シリーズ スイッチ • Cisco Catalyst 3850 シリーズ スイッチ • Cisco Catalyst 9300 シリーズ スイッチ • Cisco Catalyst 9400 シリーズ スイッチ • Cisco Catalyst 9500 および 9500 ハイ パフォーマンス シリーズ スイッチ • Cisco cBR-8 コンバージドブロードバンドルータ • Cisco Network Convergence System 4200 シリーズ
	Cisco IOS XE Fuji 16.9.2	<p>Cisco IOS XE Fuji 16.9.2 では、この機能は次のプラットフォームに実装されていました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Catalyst 9200 および 9200L シリーズ スイッチ • Cisco Catalyst 9300L SKU

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。